

『時事直言』 No.807 2013年2月13日

時事直言ホームページ：<http://chokugen.com>

時事直言 携帯サイト：<http://mobile.chokugen.com>

FAX：03-3955-6466



時事評論家 増田俊男

2014年夏までは Everything's Ok!

2013年はリスクの高い年になると考えられていたが、それは無くなった。

安倍政権の誕生とアメリカ経済の財政危機が遠のき、アメリカの住宅価格の上昇が来年夏場に向けて続くことが確実になったからである。

2007年10月の株価と住宅価格と同様のピークが2014年夏場に予想される。

バブルのピークの後に来るバブル崩壊は、実体経済（GDP）が急成長でもしない限り、決まり事なので、株価も住宅価格も来年夏までの勝負である。

世界経済の長期見通しでは、アメリカにおけるシェールガス革命に注目する必要がある。

詳しくは小冊子 Vol.43 で述べるが、シェールガス革命は現在の世界の経済構造を変えてしまう。

エネルギー輸入国のアメリカが輸出国になり、エネルギーコストが石油の数分の一になり、世界経済の優劣が決まる。

中東は最早金融市場の資金源で無くなり、石油資金を集めて運用してきたロンドンのシティーは衰退する。

世界の政治・経済地図も変わる。

そうした大変化の中で日本はアメリカを支える役割を演じ、Japan as No.1 の道を歩み始める。

今起こりつつあるアメリカの不動産ブームはアメリカの国境カナダのトロントから飛び火しているようだ。

フォーシーズンズ・ホテルの発祥地トロントにフォーシーズンズが名誉を掛けて5年5カ月を費やしゃっと完成した超豪華・高級ホテル・レジデンス（コンド・マンション）が2月に完成した。

\$28.M（約26億円）のペントハウスが一番先に売れる。

登記を終えたばかりのオーナーに買いが殺到する騒ぎ。

昔何処かの国にあったような現象が起きている。

アメリカへの最大の原油輸出国、金、シェールガス、レアメタル、木材等の資源国カナダに資本が向かっている。

アメリカと共同市場のカナダが日本と同様アメリカの支えになっている。

これから変貌する世界をしっかりと把握する必要がある。

*小冊子 Vol.43 はやっと本日原稿入稿出来る運びとなったので発送開始が2月18日頃になります。

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

相場は「タイミング」！必要な時は毎日でも発信します。株式、為替、商品（ゴールドや原油）の先行きを的確に、タイムリーに発信します。購読プラン（3、6、12か月）あり。
お問合せとお申込みは増田俊男事務所（Tel：03 3955-6686）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前に株式会社増田俊男事務所（Tel 03-3955-6686）までお知らせ下さい。